



SESERAGI—MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2023～2024年度 RI会長 ゴードンR.マッキナリー
RIテーマ 世界に希望を生み出そう

クラブテーマ「芽生えた双葉を育て、希望の花を咲かせよう！」

会長 岡良森 幹事 篠木喜世

第1544回例会 2023.10.13(金)晴

司会：鈴木俊也君

ロータリーソング「我等の生業」 指揮：高村勝則君

事務所 三島市泉町9-8 1F南
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 岡良森君



皆さん、衣替えは済ませましたか？私は先週急遽行いました。独り者ということ、元来無精ということで秋冬物のジャケットで春にクリーニング出し忘れの一着が、元気の良い虫さんの餌食になっておりました。

明日・明後日と我々にとっては、年に一度のお祭りといえますか大イベントの地区大会が浜松で行われます。初日の本会議では、地区内クラブの活動事例報告として、当クラブの活動が紹介されます。仲原副会長中心に作成いただいたビデオが紹介される予定です。2日目の全体会議では、当クラブからも多く参加していただくこととなっております。今年は、現地集合となりますので、少し早めの出発となりますがよろしくお願ひします。

また、先週のクラブ協議会にてご賛同いただきましたインターアクトについてですが、早速田方農業高校原川先生に連絡を申しあげました。この先の手順について、地区からの指導の下、青少年育成奉仕委員会として活動すべく伊丹委員長とともに進めていきたいと考えております。準備が整った段階では認証式を行うこととなります。皆様のご協力をお願いします。

今回取り上げる“乗り鉄”ネタは【52席の至福】です。これは、西武鉄道が所有する車両です。私は社会人スタートが西部新宿線沿線の寮住まいでしたので、西武鉄道には愛着があります。で、この列車ですけど4両編成になっておりました1両に26席、2両で52席となります。もう1両が厨房車両で、4両目はイベント空間となっております。すなわち、その空間を結婚式場として使用することや、ミニコンサート会場として使用することができる訳です。新宿・池袋～西部秩父で運行さ

れております。私が体験したのは5年程前の春です。秩父から新宿までのディナーコースコースで、昼間は特急アロー号で川越を観光しその後秩父に移動して芝桜が一面に咲く公園を堪能してからの乗り込みました。フルコースの後のデザートタイムには生演奏を披露してもらえました。予算は15000円程度です。

出席報告

	出席総数	出席率	マークアップ	修正出席率
前々回	25/34	73.50%	27/34	79.00%
今回	25/35	71.00%	会員総数	38名

欠席者

あなたが見えなくて残念でした。

石井(司)君、板井君、小島君、篠木君、杉橋君、田村君、土屋(和)君、土屋(巧)君、山口(雅)君、渡辺君
(*出席免除会員の欠席者 遠藤君 片野君 山本君)



スマイルボックス

岡良森君：明日、明後日の地区大会、みんなで楽しみましょう。

小林勝君：『天高く馬肥ゆる秋』です。私も夏から2kg太ってしまいました。早くダイエットしなければ。

石井和郎君：みなさん、元気ですか。

原兄多君：明日から地区大会で浜松に行ってきます。

高橋大輔君：本日初めての卓話です。皆様よろしくお願ひ致します。

野村諒子君：秋は活動の季節です。10月21日、ポリオデーの活動にご参加ください。

三輪暁生君：9月、10月で3人の新しい社員が入社しました。人手不足の建設業にとって嬉しい限りです。

中山和雄君：お久しぶりです！

山田定男君：会社会議の為、早引きします。高橋様、卓話申し訳ありません。



ロータリー三年目になります
が、実は初めての卓話になりま
す。年度頭の7月に入会だった
ため一年目は予定がなく、二年
目はコロナで休会となり、今回三
年目にして初めてとなります。

本日は皆様の貴重な御時間を

頂いている訳ですが、どれくらい貴重かお金で計算すると、年収1億円の方、月収にすると833万円になり、日給にすると27万円、時間にすると1万……ちょっと私でも払えそうになりますがこれが人数分となると大変です。私の平凡でつまらない自己紹介だけでなく何か皆様のお役に立てる様なお話が出来ればと思っていますが、私がお話出来るのは税金の事くらいなので、自己紹介の後に少しお話出来ればと思っています。改めまして、本日は宜しくお願い致します。

昭和49年に静岡市で生まれました。父親が県に勤めていましたので、10歳まで公務員宿舎に住んでいました。三つ上の姉と五つ下の妹の三人兄弟で、不自由なく暮らさせてもらいましたが、お金が無いとよく母親が話していました。今でこそ公務員は人気の職業ですが、当時今から30年40年前とかですが、公務員は給料が安くても人気も無かったです。小学校三年まで静岡の小学校(上川外務大臣の後輩)に通っていましたが、父親の実家(函南町仁田)に引っ越すことになり、四年生からは函南小学校に通うことになりました。父親の実家では祖父母が専業農家をしていて、米と梨で生計を立てていました。お米は収益性に厳しいですが、梨が凄かったみたいです。二面あり全部で四反ないくらいの面積だったと思いますが、農協に出荷するとかなく闇売りといいますが主に贈答用の宅配が多く、8月半ばから9月までの2カ月で年間収入の大半を稼いでいたようです。この仕事をしだして分かったことですが、梨の収益は申告していなかったようです。

引っ越して父は静岡まで通勤していましたが、母親の生活は一変しました。日中農業の手伝いをするようになったからです。祖父が絵にかいたような厳しい人で、足に戦争で撃たれた弾の痕があるんですが、引っ越して間もない頃、母が夕飯にハンバーグとコーンスープを作ったんですが、リビングテーブルだったんでちゃぶ台返しじゃないですけど、こんな物食べれるかと腕全体で食器事テーブルから落とすこともありました。祖父が元気だった頃は、食事中家族で会話した記憶はほとんどないです。母はよく夜中に泣いていました。父は毎晩呑んで終電で帰ってくる人だったんで、朝も早かったので平日顔を見るのがほとんどなかったです。

そんな家庭環境の中、函南小、函南東中、伊豆中央高校と通うんですが。高校に入学したての頃、母が家を出ると言って、母と子供達の4人で畑毛温泉に半月くらい泊ったこともありました。そこから高校に通ってました。渡る世間は鬼ばかり、御存知の方は分かると思いますが、たしか岡倉家5人姉妹ですが、あの中に母も入れるくらいの苦労やエピソードがあります。高校の時に祖父が他界してからは、兼業で父親が主で農業をやる様になり、私も大きくなるにつれ手伝うようになり今に至ります。

ちなみに祖母は101歳になり健在です。厳しい祖父、夫がいなくなった反動とか当時は話していましたが、まさかこままで元気でいてくれるとは思いませんでした。

高校から大学は神奈川大学に進学しました。当時は駅伝が強くて、箱根駅伝で優勝したりもしていましたが。今は予選会から出場するのが一杯な感じですが。

数学が他の科目よりは出来るということだけで理系を選択していたので、工学部でした。ちなみに今の仕事に関連する経済、会計は勿論、簿記は文系になります。大学進学と同時に横浜で一人暮らしを始めたわけですが、楽しかったですね。楽しすぎて大学に5年通うことになりましたが。大学より雀荘にいる時間の方が長かったですね。当時は今みたいな規制が無かったので、スロットでバイト代を稼げていた時もありました。あと楽しかったのはクラブのバイトです。クラブではなくクラブの方ですが、お店は関内にあっただけですが……。そうですね、夜例会だったら詳しく話したいのですが、昼例会なのが残念です。

大学4年になりもう一年通わなければならないことは決まっていたんですが、理系工学部そういった会社で働く気持ちがなくて。ただ数字は好きだったこともあり、会計や税務の仕事に興味を持つようになりました。工学部で簿記の簿の字も分からなかったんで、大学5年の時に専門学校に通い始めました。大学卒業後は学費や生活費のために、深夜のバイトしながらの生活でした。最初は簿記の勉強をして、そこから税理士試験の勉強だして、大学卒業して2年くらいたった頃、簿記論と財務諸表論に合格しました。税理士試験は五科目合格すれば税理士になれるのですが、その内の必須の二科目です。そこで取り切ってしまうれば良かったんですが、20代後半になり始め、お金も厳しくフリーターと変わらない生活が精神的にも厳しく、就職することを決めました。26歳だったと思いますが、横浜の税理士事務所に初めて正社員として就職しました。そもそも工学部だった私が何の資格もなく会計事務所で働くには無理があったので、就職採用されるために専門学校に行きましたので、税理士試験の科目合格は十分にそれを満たすものでした。

そこで三年くらい働いたと思いますが、ある朝仕事前にシャワーを浴びようと全裸になったんですが、そのまま意識なく倒れて気付いたら同僚に起こされていました。1ルームのアパートで、同じ敷地内に大家さんの家があったので、同僚が何の連絡もなく仕事に来ず電話しても出ないので、心配になり見に来てくれて大家に鍵を借りてあけてもらったそうです。そこで全裸の私が横になっていたわけですが。当時、体重が55キロくらいしかなくて、今は70キロを超えています。栄養不足だったんじゃないかと思います。その後、色々検査しましたが何も分からなかったんで、多分そうではないかと。数日休んで実家から一カ月くらい通いましたが、さすがに新幹線代は出してもらえず。大きな事務所で従業員40人くらいいたと思いますが、いずれ実家に帰るつもりではなかったので、いい機会だととらえ、実家に帰り地元で就職することにしました。大きな事務所だったので、勉強になるようなクライアントは若手には担当させてもらえなかったんで、今度は少人数の事務所がいいと考え、沼津の渡辺会計事務所に就職しました。当時従業員は四人でした。そこに今の所長千野がいて、10年後くらいに渡辺が千野に代を譲り、今に至ります。今は従業員七人になっています。